

# JIS

## 編 組 機 械 用 語

JIS L 0307 : 1999

(2004 確認)

平成 11 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS L 0307-1985**は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、対応国際規格である**ISO 7839 : 1984, Textile machinery and accessories—Knitting machines—Classification and vocabulary**との整合化を図るため改正を行った。また、この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。通商産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

**JIS L 0307**には、次に示す附属書がある。

附属書(参考) 編機の分類体系

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和48.7.1 改正：平成11.4.20

官報公示：平成11.4.20

原案作成協力者：日本繊維機械標準化協議会

審議部会：日本工業標準調査会 一般機械部会(部会長 岡村 弘之)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室(☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 編組機械用語

L 0307 : 1999

## Glossary of terms used in knitting, braiding and related machinery

**序文** この規格は、1984年に第1版として発行されたISO 7839, Textile machinery and accessories—Knitting machines—Classification and vocabulary を元に対応する用語及び定義については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格に規定されていない用語及びその定義を日本工業規格として追加した。

なお、参考の欄に対応ISO番号のない用語は、対応国際規格がない用語である。

**1. 適用範囲** この規格は、繊維工業において編機、組機、レース機及び製網機に用いる主な用語について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 7839 : 1984 Textile machinery and accessories—Knitting machines—Classification and vocabulary

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS L 0202 家庭用編機用語

JIS L 0210 繊維用語（製織部門）

JIS L 0211 繊維用語（メリヤス部門）

JIS L 0214 繊維用語（レース部門）

**3. 分類** 用語は、次の分類とする。

**(1) 機械**

(1.1) 一般

(1.2) たて（経）編機

(1.3) 丸編機

(1.4) 横編機

(1.5) 靴下編機

(1.6) 組機

(1.7) レース機

(1.8) 製網機

**(2) 附属装置****(3) 部品**

(3.1) 編針に関するもの

(3.2) カムに関するもの

(3.3) その他の編成要素に関するもの

(3.4) たて編機に関するもの